令和３年度社会福祉推進事業「介護福祉士養成教育における感染症に関する教育の手引きの作成」

**介護福祉士養成課程における感染症に関する教育についての実態調査**

|  |
| --- |
| **【回答にあたって】**・本票は、感染症教育に関係する科目担当教員と調整を図り、教務主任、学科主任等の先生がご回答ください。お手数をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。**QR コード  自動的に生成された説明**・本票は、**各養成校1票の回答**です。**【回答及び返送の方法】**・右記のウェブフォームでも回答できます。　　　　　　　　　https://qr.paps.jp/q2LPH・日本介護福祉士養成施設協会ウェブサイトの「会員のみなさまへ」のページ（http://kaiyokyo.net/member/index.html）に、調査票（ワード）が掲載されていますのでご活用ください。メールによる添付ファイル回答も可能です。・本紙面による回答は、同封の返信用封筒をご利用いただき、ご返送をお願いいたします。・**令和３年１１月５日（金）**までにご回答をお願いいたします。**【倫理的配慮等】**・得られたデータは、本調査の目的以外では使用しません。・事例等にご協力いただける場合は、本票12ページに養成校名等の記載をお願いしていますが、これに該当しない場合は無記名回答となります。・養成校や回答者が特定される集計結果等を公表することはいたしません。事例等の扱いについては、該当する養成校と調整を図り対応いたします。・調査へのご協力は任意です。回答しないことによる不利益は生じません。**【調査結果のご報告と成果の還元】**・調査結果は、令和３年度社会福祉推進事業報告として厚生労働省に報告書を提出するほか、本事業の成果物として予定している「介護福祉士養成課程における感染症に関する教育の手引き」（仮称）に活用されます。同手引きは、養成校にご活用いただけるよう、冊子配布及びダウンロードによる活動を予定しています。**【問合せ・返送先】**公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会　　担当：渡辺東京都文京区本郷3－3－10 藤和シティコープ御茶ノ水2階TEL：03－3830－0471　／　FAX：03－3830－0472  Eメール：r3-shafuku-suishin@kaiyokyo.net |

**■ 紙面ではなく、ワードファイルでご回答の場合 ■**

行ずれ、ページずれが生じても修正をする必要はありません。

気にせずに回答を進めてください。

## ■はじめに

本調査では、感染症や感染予防に関する教育のことを**「感染症に関する教育」**と表示しています。

## ■養成校の基本属性

**質問 1**　貴校の状況をお教えください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. **学校種別**
 | 1. 福祉系高等学校
2. 専門学校１年課程
3. 専門学校２年課程
4. 専門学校３年課程
5. 専門学校４年課程
6. 短期大学
7. 四年制大学
8. その他（ ）
 |
| 1. **介護福祉士養成課程の教員数**
 |  | 専　任（　　　　　　）非常勤（　　　　　　） | 名名 |
|  | 合　計（　　　　　　） | 名 |

## ■感染症に関する教育の範囲（何を教えるか）及び内容（どこまで教えるか）について

**質問２－２**　以下について、該当する科目の番号を記載してください。**ない場合は「なし」**とご記入ください。

**質問 2－１**　貴校において、感染症に関する教育

を行っている科目に○をしてください。

（あてはまるものすべてに〇）

（１）問２－1で○をした科目のうち　　　　　シラバスの**授業概要**に、感染症に関する教育についての記載がある科目

（２）問２－1で○をした科目のうち　　　　　シラバスの**到達目標**に、感染症に関する教育についての記載がある科目

（３）問２－1で○をした科目のうち　　　　　シラバスの**授業計画**に、感染症に関する教育についての記載がある科目

**記入例**

|  |
| --- |
| 専門学校・短期大学・4年制大学 |
| 1. 人間の尊厳と自立
2. 人間関係とコミュニケーション
3. 社会の理解
4. 介護の基本
5. コミュニケーション技術
6. 生活支援技術
7. 介護過程
8. 介護総合演習・介護実習
9. こころとからだのしくみ
10. 発達と老化の理解
11. 認知症の理解
12. 障害の理解
13. 医療的ケア
 |
| 福祉系高等学校 |
| 1. 社会福祉基礎
2. 介護福祉基礎
3. コミュニケーション技術
4. 生活支援技術（医療的ケアを含む）
5. 介護過程
6. 介護総合演習・介護実習
7. こころとからだの理解
 |

（１）左で○をした科目のうち　　　　　シラバスの**授業概要**に、感染症に関する教育についての記載がある科目

**３．４．１２**

|  |
| --- |
| 1. 人間の尊厳と自立
2. 人間関係とコミュニケーション
3. 社会の理解
4. 介護の基本
5. コミュニケーション技術
6. 生活支援技術
7. 介護過程
8. 介護総合演習・介護実習
9. こころとからだのしくみ
10. 発達と老化の理解
11. 認知症の理解
12. 障害の理解
13. 医療的ケア
 |

（２）左で○をした科目のうち　　　　　シラバスの**到達目標**に、感染症に関する教育についての記載がある科目

**なし**

**質問 3**　貴校において、感染症に関する教育として、実際に教授している範囲をお教えください。

**講義**で実際に教授している範囲について、　　　**演習**で実際に教授している範囲について、

あてはまる番号を選び記載してください。　　　　あてはまる番号を選び記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 1. 感染症に関する法律や施策の概要

**ここから番号を選び****上の□に入れてください**1. 感染・感染症とは
2. 感染が成立する３つの要因
3. 感染対策の３つの柱
4. 介護従事者の安全のための対策
5. 標準予防策（スタンダード・プリコーション）
6. 日頃からの予防策（嘔吐物・排泄物・血液の扱い、消毒とは・滅菌とは、消毒と滅菌の方法、医療用廃棄物の処理方法など）
7. 利用者の健康管理及び感染症を疑うべき症状
8. 主な感染経路と原因病原体
9. 感染症の種類別対策
10. 感染症発生時の対応
11. 職業感染予防(入職時の確認、日常の健康管理、定期的な健康診断、職業感染対策等)
12. 介護の場面（食事、入浴、排せつ等）における感染症予防及び感染症対策
13. 医療的ケアにおける清潔保持と感染予防（療養環境の清潔、消毒法、滅菌と消毒）
14. 医療的ケアにおける感染管理と予防（スタンダード・プリコーション）
15. 医療的ケアにおける呼吸器系・経管栄養に係る感染予防の知識と技術の修得
16. その他（ ）
 |

**質問 4**新カリキュラムに関する「教育に含むべき事項」「留意点」「想定される教育内容の例」には、感染症に関する教育にかかる記載があります。貴校における対応はどのようになっていますか。（あてはまるものすべてに〇）

|  |
| --- |
| **●感染症に関する教育について**1. 「教育に含むべき事項」の記載を反映できている
2. 「留意点」の記載を反映できている
3. 「想定される教育内容の例」を参考としている
4. いずれもあてはまらない
5. その他（ ）
 |

**質問 5**　感染症に関する教育の範囲（何を教えるか）・内容（どこまで教えるか）と、**教科書**との関係はどのようになっていますか。（1つに〇）

※ここでいう**「教科書」とは、介護福祉士養成課程向けに作成・販売されているテキスト、高等学校の教科書**を意味しています。

|  |
| --- |
| 1. 全ての科目において、教科書に掲載の範囲・内容で教授している
2. 教科書に掲載の範囲を超えて、教授している科目がある

（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）（科目名と内容： ）1. その他
 |

**質問 6**　感染症に関する教育の範囲（何を教えるか）・内容（どこまで教えるか）について、貴校における教育上の課題、工夫や独自の対応等があればご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

## ■感染症に関する教育にかかる教科書や教材について

※ここでいう**「教科書」とは、介護福祉士養成課程向けに作成・販売されているテキスト、高等学校の教科書**を意味しています。

**質問 7**　感染症に関する教育を行うにあたり、教科書や教材の使用状況はどのようになっていますか。（1つに〇）

【**講義科目**について】

|  |
| --- |
| 1. 教科書のみで対応している
2. 教科書のほかに、教材を利用している

（具体的に ）1. その他（ ）
 |

【**演習科目**について】

|  |
| --- |
| 1. 教科書のみで対応している
2. 教科書のほかに、教材を利用している

（具体的に ）1. その他（ ）
 |

**質問 8**　感染症に関する教育にかかる教科書や教材について、貴校における教育上の課題、工夫や独自の対応、紹介したい効果的な教材等があればご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

## ■感染症に関する教育の順次性及び科目間連携について

**質問 9**　感染症に関する教育の**順次性を確保**するために、貴校ではどのような対応がなされていますか。（あてはまるものすべてに〇）

|  |
| --- |
| 1. 教材や資料の共有をしている（共通利用、相互閲覧等を含む）
2. 関連する授業に他科目担当の教員が参加している
3. 教員同士で話合いをしている
4. 専攻・コース・学科等における会議で決めている
5. 指導案を作成している
6. シラバスに工夫をしている
7. 授業計画に到達目標を設定している
8. カリキュラムマップを作成・活用している
9. その他（ ）
10. 特にない
 |

**質問 10**　感染症に関する教育の**科目間連携**をするために、どのような対応がなされていますか。（あてはまるものすべてに〇）

|  |
| --- |
| 1. 教材や資料の共有をしている（共通利用、相互閲覧等を含む）
2. 関連する授業に他科目担当の教員が参加している
3. 教員同士で話合いをしている
4. 専攻・コース・学科等における会議で決めている
5. 指導案を作成している
6. シラバスに工夫をしている
7. カリキュラムマップを作成・活用している
8. 感染症に関する教育について、到達度目標を設定している
9. その他（ ）
10. 特にない
 |

**質問 11**　感染症に関する教育の順次性及び科目間連携について、貴校における課題、工夫や独自の対応、成果等があればご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

## ■介護実習との関係について

**質問 12**　感染症に関する教育にかかる介護実習施設・事業所との連携として、以下のような取り組みをしていますか。（あてはまるものすべてに〇）

|  |
| --- |
| 1. 感染症に関する教育について、実習のあり方を介護実習施設・事業所（介護実習指導者）と協議している
2. 感染症に関する養成課程での教育状況を明示している
3. 感染症に関する教育について、介護実習における具体的な内容を依頼・調整している
4. 感染症に関する教育について、共通の目標を作成している
5. その他（ ）
6. 特にない
 |

**質問 13**　感染症に関する教育にかかる介護実習について、貴校における課題、工夫や独自の対応、成果等があればご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

## ■感染症に関する教育への認識等

**質問 14**　貴校においては、どのような課題がありますか。（あてはまるものすべてに〇）

|  |
| --- |
| 1. 教育の範囲や内容の基準がわからない
2. 充分な時間が確保できていない
3. 教材が不足している
4. 順次性が確保できていない
5. 科目間連携が確保できていない
6. 介護実習施設・事業所（介護実習指導者）との連携が不足している
7. 介護現場のニーズに対応できていない（ニーズがわからない）
8. 新たな感染症への対応ができていない
9. シラバスへの明示ができていない
10. 感染症に関する教育についての到達目標が設定できていない
11. その他
 |

**質問 15**　感染症に関する教育について、貴校の教育上の課題をお教えください。

**【組織上の課題】**

|  |
| --- |
|  |

**【教員の課題】**

|  |
| --- |
|  |

**【学生の課題】**

|  |
| --- |
|  |

**【環境〈課程年数、授業時間数、介護実習施設・事業所〉の課題】**

|  |
| --- |
|  |

**【その他の課題】**

|  |
| --- |
|  |

**質問 16**　本年度、「介護福祉士養成課程における感染症に関する教育の手引き」（仮称）を作成する予定です。手引きに対するご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

※感染症に関する具体的な教育事例（教授内容の工夫、シラバス、順次性の確保や科目間連携等）のヒアリングや事例のご提供にご協力いただける場合は、以下にご記入をお願いいたします。

□具体的な教育事例のヒアリングや事例の提供に協力します。

養成校名：

所在都道府県：

ご連絡先のお名前：

メールアドレス

**【ご協力をいただきありがとうございました】**

**■ 紙面ではなく、ワードファイルでご回答の場合 ■**

ファイルを一度保存し、添付ファイルにて送信をお願いいたします。

送信先（渡辺）：r3-shafuku-suishin@kaiyokyo.net